

◆ 民生費 ◆

子どもの育ちを社会全体で支援する子ども手当や子育て世代の経済的支援を行う小学校修了前児童の医療費助成のほか、各種保育サービスのための経費を計上しました。

また、誰もが安心して暮らすことができるよう、高齢者の介護予防や生活支援のほか、障害者の日常生活への支援などに必要な経費を計上するとともに、社会保障制度の運用のための経費を計上しました。

◆ 衛生費 ◆

安心して生み育てることへの支援として、妊婦健康診査（妊婦・乳児個別健診）や乳児健診など母子健康対策等に要する経費を計上したほか、町民の自主的な健康づくりを推進するための健康診査や各種健診などに要する経費、救急医療や東陽病院の機能充実など医療体制の充実のための経費を計上しました。

また、上水道の安定供給に要する経費や、快適な生活環境づくりのためのごみ処理・し尿処理に要する経費を計上しました。

◆ 農林水産業・商工費 ◆

農林水産業費では、農業生産基盤の整備を促進する経営体育成基盤整備事業（篠本・新井地区）や地場産品の消費拡大を推進する地産地消費推進事業のほか、農林水産業を担う経営体の育成支援と生産基盤の整備に要する経費を計上しました。

また、商工費では、商工会活動の支援や中小企業振興資金利子補給に要する経費のほか、海水浴場開設事業など観光資源を地域の活性化につなげるための経費を計上しました。

◆ 土木費 ◆

町の一体性の向上を図るため、新粟嶋橋架橋・取付道路整備事業や（仮称）長塚、北清水橋架橋・取付道路整備事業のほか、本町の骨格となる幹線道路の整備に要する経費を計上しました。

また、JR横芝駅利用者の利便性と安全性の向上を図るため、駅前広場の整備に要する経費を計上しました。

◆ 消防費 ◆

匠瑳市横芝光町消防組合負担

金のほか、自主的な防災活動や消防団活動の支援に要する経費や、防災行政無線をデジタル化し機能向上を図るための経費を計上しました。

◆ 教育費 ◆

自立した未来の担い手を育てるため、語学学習等の充実を図る外国人英語講師や補助教員・介助職員の配置、学校ICT（情報通信技術）環境の活用などによる教育内容の向上のほか、経済的に就学困難な児童・生徒への就学援助などに要する経費を計上しました。

また、学校施設や学校給食センターの充実を図るため、学校給食センター改築事業や東陽小学校屋内運動場改築事業などに要する経費を計上しました。

◆ 公債費 ◆

町借入金返済に要する経費を計上しました。本年度は合併関連事業に係る合併特例債の返済金が増えるものの、横芝ふれあい坂田池公園建設の際に借り入れた借入金の返済終了等により公債費全体では、2,165万円（△2.4%）の減額となりました。

性質別歳出

性質別		平成22年度	平成21年度	増減率(%)
人件費	職員や特別職給与、議員の報酬など	17億2,135万円	17億4,407万円	△ 1.3
扶助費	高齢者、児童などに対して行う支援のための経費	12億4,106万円	8億8,442万円	40.3
公債費	町借入金の返済に充てる経費	8億9,285万円	9億1,451万円	△ 2.4
普通建設事業費	道路、学校施設などの建設・整備に使うお金	22億2,935万円	13億4,370万円	65.9
補助費等	一部事務組合の負担金や、各種事業への補助金など	20億7,749万円	21億3,255万円	△ 2.6
物件費	人件費、扶助費、補助費等以外の消費的性質のお金	11億7,744万円	12億643万円	△ 2.4
繰出金	国民健康保険などの特別会計に繰り出すお金	6億3,212万円	6億1,579万円	2.7
積立金	地域振興基金などの財産の積み立てに使うお金	4億208万円	4億290万円	△ 0.2
その他	維持補修費、災害復旧費、投資及び出資金、予備費	8,226万円	7,563万円	8.8
合計		104億5,600万	93億2,000万円	12.2

町民1人あたりの予算

一般会計

1人あたり	403,177円
総務費	67,608円
民生費	95,579円
衛生費	44,427円
農林水産業・商工費	20,056円
土木費	47,004円
消防費	17,073円
教育費	72,367円
公債費	34,428円
その他	4,635円

(3月1日現在の人口 25,934人で計算)